

学力のプロテイン

～宝泉中 学習通信～NO. 2

中間テストの結果も返却され、皆さん、思う所があると思います。テストは受けたら終わりではありません。返却されたテストを上手く活用して、次へのレベルアップのためのスタートを切ろう！



テストの活用「間違っただ問題ノート」を作ろう！

テストの結果は勿論大切ですが、結果が「良かった」「悪かった」で終わってしまうとテストの価値が半減してしまいます。「できない問題との出会い」を大切に、その価値を最大限に生かすために「間違っただ問題」ノートを作りましょう。

これを勉強（実力テストや塾のテストなどのテストだけではなく、普段の勉強で取り組んだ問題も有効）のルーティンにすれば、最終的には自分だけのオリジナル教材になります。

「間違っただ問題」ノートをつくらう

解けるようになったら印をつける

ノートに間違っただ問題を切り抜いたり、コピーをして貼り付ける

答えは隠せるような場所や違うページに貼っておけば、繰り返し解くことができます。何度かやってみるようになったら OK マークなど、「もうやらなくて大丈夫」と分かる目印を書くと達成感も実感できます。

「課題」は何のためにやる？

テスト前など、各教科で課題が出されますが、皆さんは「ちゃんと」取り組んでいますか。この場合の「ちゃんと」とは、ただ期限を守るだけではありません。なぜ、課題が出されるのでしょうか。それは、その内容をしっかりと身につけてほしいからです。そのためには、ただ提出するだけでは「ちゃんと」にはなりませんね。提出することだけを目的とせず、その課題がすべて解けるようになるまで何度も繰り返しましょう。その頑張りが「粘り強く取り組んでいる姿」としても評価もされます。粘り強く取り組んだ先にレベルアップが待っていますので、頑張ってください。